



ゆりかごだより



本格的な寒さがやってきました。今年の冬は昨年よりも寒くなるといわれていますが、冷たい空気にふれることで自律神経は整えられストレスや病気に負けない強い体を作るとも言われています。上手に外遊びも楽しんでこの冬を乗り切りましょう。

おう吐後に……

すぐに水を飲ませないで

吐いた後、のどが渇いたからといって、水などをたくさん飲ませると、かえって吐きやすくなるので気をつけて。

① うがいをして口の中を洗い流します。



② 30分ほど様子を見ます。



③ 吐き気が治ったら、スプーンで子ども用イオン飲料やお茶などを少しずつ。



おう吐物の処理

おう吐物は感染症の原因となる細菌やウィルスが含まれていることがあります。処理は「素早く、丁寧に、正しい手順で」行いましょう。

用意しておく物

- マスク
- ポリ袋
- 新聞紙
- 使い捨て手袋
- 次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤など）



すぐに使えるよう、バケツにまとめておく

① まずは換気。その後、手袋・マスクを着け、新聞紙などでおう吐物をふき取る。新聞紙はポリ袋に入れて密封する



② 次亜塩素酸ナトリウムを薄めた液に浸した布で床を拭く（嘔吐物から3mの範囲）。処理後30分は室内に人を入れないことが望ましい。



次亜塩素酸ナトリウムを200倍に薄めた液

③ 使った物をすべてポリ袋に入れ、消毒液をかけてから密封して捨てる。



ポリ袋は二重にする

④ 最後にはせっけんで30秒以上しっかり手を洗い、うがいをする。



※消毒液は商品によって希釈率が異なるので、商品の説明をよく読んでお使いください

保育中の様子



利用疾患名

- ・ 気管支炎
- ・ 急性腸炎
- ・ 鎖骨骨折
- ・ 急性鼻炎
- ・ 大腿骨骨幹部骨折
- ・ 上気道炎
- ・ 手足口病
- ・ 喘息様気管支炎

などなど

「天使のゆりかご」では、保育士と看護師が、1人1人の年齢・状態等にあわせて保育をしています。また、保護者の就労だけでなく、お子様の回復期に保護者の体調不良など、ご家庭での保育が難しい場合などもご利用いただいています。まずは、ご相談いただければと思います。

連絡先 NPO法人アンジュ・ママン
病後児保育「天使のゆりかご」



TEL0978-25-4512

